

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	地域福祉計画策定及び地域支援進行管理事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	福祉課
	施策	16	高齢者・障害者の自立支援と社会参加	所属課	福祉課	担当者名	狩野紀彦
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進	所属班	社会福祉班	(内線)	2136
				法令根拠	社会福祉法		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
	1	3	1	1	10430			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		19	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
・市町村は地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める計画を策定する。地域福祉計画は市民等の協力を得て、地域の要支援者の生活上解決すべき課題とそれに対応する必要なサービス内容や量を、その現状を明らかにし、かつ、確保し提供する体制を計画的に整備する内容とする。

【業務の流れ】  
①委託業者の選定②策定委員会の選定③健康福祉部の他課の計画書の収集④総合計画とのすり合せ⑤ワークショップの開催⑥関係福祉団体等の課題等調査⑦総合化検討会議⑧パブリックコメントの実施  
地域福祉計画校区単位での啓発事業の実施。5年ごとの見直し(平成20年度～24年度)  
・福祉会館での地域支援事業の展開

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度同様。福祉会館で地域福祉支援事業を社会福祉協議会に委託し実施する。	
地域福祉計画啓発及び社会福祉協議会制定の地域福祉活動計画との連携		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	ア 課内会議時間	H
	イ 仕様書作成・業者選定・見積り徴集・委託・支払	H
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
市民	ア 市民	人
要支援者	イ 要支援者	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
地域の力によって要支援者が安心・安全に生活できるように、他の計画・プラントの整合性をもった計画を練り上げる。5年ごとに見直しを行う。	ア 他課との協議時間	H
	イ 社会福祉協議会との協議時間	H
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
合志市における基本構想・基本計画の中に織り込まれた地域福祉計画を策定し、より具体性に富む実践に結びつける。	ア 地域福祉計画策定予算金額	円
	イ 地域福祉計画管理関係予算	円

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0  0  0  0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円		5,000	162	59	4,608	4,608		9,608
	(A) 事業費計	千円		0	5,000	162	59	4,608	4,608		9,608
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	4	5	3	3	3	3		5
	延べ業務時間	時間	92	150	150	150	200	200	450		
	(B)人件費計	千円	365	597	597	796	796	796	1,791		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	365	5,597	759	656	5,404	5,404	11,399		

指標	単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
活動指標	ア H イ H	20 0	50 20	50 2	20 2	20 20	20 0	50 20	目 標 合 計 数 計 画  22 年 度
対象指標	ア 人 イ 人	53000 500	54000 500	54000 510	54000 510	55000 520	55000 530	56000 550	
成果指標	ア H イ H	10 0	30 25	20 30	20 30	20 30	20 25	30 30	
上位成果指標	ア 円 イ 円		4384 836	0 162	0 162	0 4608	0 4608	5000 4608	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成12年5月制定の社会福祉福祉法

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
要支援者が高齢化・少子化及び社会構造の変化に伴って増加してきた。行政だけの対応では無理が生じ、要支援者等を地域で見守っていくシステムを構築する必要性がでてきた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
県下の市町村では策定の動きが顕著であるので、市としても早急に計画の策定が必要であったので平成20年3月に制定を行なった。その具体的な施策をとの意見がある。

事務事業名	地域福祉計画策定及び地域支援進行管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 社会福祉法で定められた事項であり、他の計画・プランの中心的な計画であるので政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 社会福祉法で定められた事項である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市民全体に対するものであるので妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 他の計画・プランとの整合性を図り、隙間を埋める計画であることが肝要である。事業を実施する際も社会福祉協議会に事業委託し向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 社会福祉法で定められた事項であるので、影響がある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似する事業がない  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 住民の協力を得ることを前提にしているので、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託事業として計画していくが、健康福祉部での計画・プランを策定した事業との随意契約を結ぶことで、データを活用することができ削減の余地ができた。見直しの際も共有化を図っていく。 社会福祉協議会との密接な関係を持つことが必要。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市民全体を対象としているので公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切。 ②有効性については、適切。 ③効率性については、適切。 ④公平性については、適切。 ・基本構想・基本計画との整合性を図り、健康福祉部の他の計画・プランを織り込むことが重要。また、市の力量を十分に発揮したものでなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
基本構想・基本計画との整合性を図り、健康福祉部の他の計画・プランを織り込むことが重要。また、市の力量を十分に発揮したものととなったので、社会福祉協議会と連携して、事業を展開していく。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・計画を立てただけでなく、それをどう実践していくかを総合計画の中に予算化して落としこんでいくことが必要。
- ・計画を策定した後、実施に向かって他課との協議が必要。
- ・H20年度より社会福祉協議会と連携して福祉会館にて地域福祉支援事業を展開していく。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )